■ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）

専門職業人たる医療従事者・福祉従事者としての倫理観に基づく柔道整復及びはり、きゅう、理学療法、社会福祉にかかる実務を実践できる。

柔道整復及びはり、きゅう、理学療法、社会福祉の対象を総合的に理解し、科学的な知識並びに技術に基づいて実務を実践できる。

保健・医療・福祉チームの一員として、柔道整復師及びはり師、きゅう師、理学療法士、社会福祉士の役割と責任を持って協働できる。

柔道整復及びはり、きゅう、理学療法、社会福祉業界の発展や質の向上に貢献できるよう主体的学修能力を身につけることができる。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

教育理念・教育目標に基づき、以下の方針に基づきカリキュラムを編成・運営している。

本校の教育目標は、以下に掲げる医療従事者・施術者・福祉従事者の育成を目指すことにある。

1. 応用のできる専門的知識・技術を有し、人間性豊かで医療倫理観を兼ね備えた自立した医療従事者・施術者・福祉従事者
2. 医療チームの一員として、各職種の医療従事者と協調し、主体的かつ能動的に保健・予防医療活動を実践できる地域密着型の医療従事者・施術者・福祉従事者

3. 高齢化、国際化、情報化などの社会情勢、保健・予防医療体制の変化に即応できる柔軟性を兼ね備えた医療従事者・施術者・福祉従事者

本校の教育方針は以下のとおりである。

1. 本校の教員は、学生の視点に立ち、学則に基づき柔道整復及びはり師、きゅう師、理学療法士、社会福祉士の国家試験に合格できるレベルの知識と技術を教授できるよう、常に教育内容や教授法の工夫と改善に最大限の努力を行う。
2. 本校の教員は、所定期間内に知識・技術を修得しがたいと思慮される学生を常に把握し、当該学生が初期の目標を達成できるように最大限の援助・指導を行う。また、国家試験不合格者に対しても可能な限りの再学修条件を提示し、その者の学修環境を整え、初期の目標を達成できるように最大限の援助・指導を行う。
3. 地域において存在価値のある柔道整復師及びはり師、きゅう師、理学療法士、社会福祉士を養成するため、現代医学の知識・技術に加え、全人的観点に立った統合医療の新たな知識・技術を身につけるべく、我が国をはじめとする諸外国の伝統医療を取り入れ、それを教授する。また、今後、医療体制が統合医療へと変化するのに対応できるよう、保健・予防医療を含めた最新の情報を教授する。

本カリキュラムは、医療専門課程については「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の 3 つの分野で

構成し、ディプロマ・ポリシーに基づいた科目を配置する。

「基礎分野」は、人間の理解と社会の仕組みや動向に関心を持ち、社会的視野を広げるために置く。

「専門基礎分野」は、柔道整復師及びはり師、きゅう師、理学療法士として必要な医学知識をはじめとした基礎的な専門知識を中心に学ぶ。

「専門分野」は、柔道整復学及び鍼灸学、理学療法学の基盤となる考え方や治療法ならびに施術法等についての科学的根拠を学ぶ。

また、教育・社会福祉専門課程については「社会福祉士養成課程の教育内容」に準拠した内容を、ディプロマ・ポリシーに基づいた科目を配置する。

学修成果の評価

学修成果の評価は、授業の進度に合わせてシラバスに明示された到達目標と成果を示す小テスト・定期試験・レポート・グループワークや授業への出席等の参加状況、実習評価などを含め、多様な学修状況や授業評価を活用して教育方法の改善につなげていく。

■アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）

本校では、投薬や手術の治療を中心とした西洋医学に、予防的概念を中心とした伝統医療を取り入れた統合医療に興味を持ち、その業界の発展及び、医療を通じて社会に貢献できる高い志を持った人を求めている。

■アセスメント・ポリシー（学修成果及び成績評価に関する方針）

学修成果の把握に関する方針

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学校沖縄統合医療学院（組織）レベル、教育課程レベル、授業科目レベルの段階で学修成果を把握し評価・検証する。

1. 専門学校沖縄統合医療学院（組織）レベル

   アドミッション・ポリシーに基づいて入学した学生が、卒業までに身につけるべき資質・能力（ディプロマ・ポリシー）を満たし、社会に貢献できる人材に成長しているかを評価し、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの見直し及び教育の質の保証に役立てる。

2. 教育課程レベル

   ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育課程で編成された学修成果を上げているか、また、卒業までに身につけるべき資質・能力（ディプロマ・ポリシー）を満たす人材にどれだけ近づいているかを評価し、カリキュラム改善・学修支援に役立てる。

3. 授業科目レベル

   ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく学修内容で構成され、学修成果を上げているかを科目ごとに評価し、授業改善・学修支援に役立てる。